

平成21年度第11回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成22年2月25日(木) 18:30 ~ 20:00

【場 所】 望来コミュニティセンター みなくる

【出席者】 菅原会長、佐藤副会長、伊豆原委員、大黒委員、河合委員、小林委員、澤田委員、清水委員、
谷委員、福沢委員、松浦委員、吉田委員
(欠席～中井委員、畑中委員、盛重委員)

※正副会長を除き、あいうえお順

支所～鈴木支所長、澄川課長、成田課長、澄川課長、栗谷主査
事務局～尾山課長、高田主査、植木主任

【傍聴者】 1名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

地域振興事業の取り組みについて

- ・地域づくり基金の使途見直しについて
- ・コミュニティ・スクール分科会について

4. その他

・地域振興の動きについて

(①アティック②ライフサポート③石狩冬まつり④石狩市過疎地域自立促進市町村計画)

・次回会議の日程等について

5. 閉会

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

地域振興事業の取り組みについて

・地域づくり基金の使途見直しについて

地域づくり基金の活用に関し、見直された内容を尾山課長が説明。詳細は下記のとおり。

- ・ 基金使途として、「地域協働推進事業」「経過措置事業」のほか、「地域づくり支援事業」を新たに追加し、市民協働を前提としない事業であっても特色ある地域づくりに資するものに対して、基金の活用を認める。
- ・ 補助率を、ハード事業を補助基本額の3/4とし、それ以外の事業は初年度に限り3/4とする。
- ・ 本庁各所管において対応していた基金事業に係る予算要求等の事務を、平成22年度より直接支所が担当する。

○菅原会長：何か質問などがあればお受けしたい。

○吉田委員：基金に関する事務を直接支所で担当するという事は、支所に決裁権があるということか。

○尾山課長：基金活用の方針については支所にて委ねられるが、実際の活用の際は、本庁所管と連携を取りながら進めていくというのが基本になる。

○高田主査：初期投資時にだけ補助率が上がり、事業が組み立てやすくなっているが、基金活用の基本的な考え方は変わっていない。これまでどおり、あくまでも全体構想のしっかりした特色ある事業ということが確立していないと活用できないということを理解していただきたい。

・コミュニティ・スクール分科会について

当協議会から生まれ正式に発足したコミュニティ・スクール分科会について、分科会座長でもある佐藤副会長が説明。さらに、事務局から補足説明。詳細は下記のとおり。

- ・ 2月17日に第1回のコミュニティ・スクール分科会が開催された。
- ・ 開催の状況や協議事項は、逐一地域協議会に報告していく。

○菅原会長：分科会が立ち上がり、今後、地域の特性のある教育の実現を進めていき、地域の子供たちがレベルの高い授業を受けることができるようになれば本当によいと思う。みなさんの頑張りを私どもからもお願いしたい。

4. その他

地域振興の動きについて

①アティックについて河合委員が説明。詳細は下記のとおり。

- ・ アティックは農家の若者4名で活動している団体であり、顧客に農産物BOXのオーナーとなってもらい、厚田の四季折々の野菜をお送りしており、年々顧客が増えている。
- ・ 顧客増加は嬉しい限りだが、その分仕事も増えている。メンバーは農家本来の仕事の時間を削って活動しているので、パートなどの採用を考えている。
- ・ パートへの支払いは農産物のはね品なども考えている。
- ・ 送料、お送りする農産物、金額などから考えると、収支はなかなか厳しい現状にあり、何か助言などがあればお願いしたい。

②あつたライフサポートの会について佐藤副会長が説明。詳細は下記のとおり。

- ・ 過疎地有償運送の国への許可登録申請を終え、今年度中には許可登録される見通しであり、それにより、4月からは有償の移送サポートが始まる。
- ・ 除雪サポートについて、現在、1件の依頼があり、今週末に初めて除雪サポートを実施する。

③石狩冬まつりについて吉田委員が説明。詳細は下記のとおり。

- ・ 石狩冬まつりとウインターレクフェスタが初めて協働で開催されたということもあり、色々問題も生じたが、何とかそれらの問題をクリアし、多くのお客様をお迎えすることができた。
- ・ 天候にも恵まれ、早い時間に品切れする屋台もあった。
- ・ 花火やすべり台が好評であり、特にすべり台は人気が高かったが、日本一長いすべり台は待ち時間も

長くなってしまった。

- ・ 厚田地元の食材を使ったカジカ汁、望来豚、ホタテなども売られ、厚田をPRできたイベントであったと思う。

○菅原会長：まずは以上の3点について、何か質問があればお受けしたい。

○清水委員：アティックの現状についてお聞きしたい。通常時はアルバイトを雇ったりしているのか。

○河合委員：農家の仕事の方で雇っているというのはあると思う。アティックの活動については、今回は農協職員で対応したというのが現状である。

○清水委員：アティックの農産物の箱詰めなどの作業を農家の方々で行い、農家本来の仕事を農業体験という形でボランティア的な方々に対応してもらってはどうか。箱詰め作業は苦手だが農作業なら…という人もいると思う。農作業のお礼に農産物を渡すというのもよいと考える。また、もう一つの考えとして、農業に限らず、漁業の網はずしなど一次産業をバックアップするサポーターを募るような制度をつくってはどうか。

○河合委員：ボランティアの方々に手伝ってもらおうということは自分も考えていたが、実際に農家の仕事をしていると、本当にボランティアの方が来てくれるのかな、と考えてしまう。一般的なパートのような支払いはできないが、農産物のはね品などを渡して喜んでもらえれば…と思う。そういう人たちを登録する人材バンクのようなシステムがあればよいと私も思う。

○佐藤副会長：今、話題の出た人材バンクだが、例えば退職者などは時間に余裕のある方がたくさんいる。ただ、どんな仕事をいつどのくらい必要か、などの情報がその方々に伝わっていない。今後、地域協議会でもこういった人材バンクの設立や運営について考えていかななくてはならないと考える。農家に限らず、林業、漁業でもこういったシステムがあればよいと思う。

○菅原会長：私もそういったシステムがあればよいと思う。どこでそういったことができるか、考えていたのだが地域協議会が立ち上げに関わるのは確かによいことである。

○清水委員：私も農家のお手伝いなどにも行っているが、ほかのお手伝いの方から。もう年齢も年齢なので来年はこのようなこともできない、という言葉も聞くこともある。農家のバックボーンもだんだんなくなってきている。さきほどコミュニティ・スクールの説明があったが、地域一体となってこのようなことに取り組むことのできる人材を育成できれば、と思う。

○鈴木支所長：現実的な問題として、アティックの作業は何人工でどれくらいの費用がかかるのかお聞きしたい。

○河合委員：今は資料がないのだが、今後、提示していきたい。

○吉田委員：本州などでは、農業ボランティアの方が野菜をもらいとても喜んでいてという話もある。やはり、ボランティアについて調べていく必要があるのではないか。

○大黒委員：高齢者の方々の中にも、農業に興味を持っている人はたくさんいる。高齢者を活用するというのも一案だと思う。

○高田主査：以前、中井委員がとなりの漁師さんは魚が獲れていて自分は獲れていない時など、人手の貸し借りができるシステムを作りたいと話していた。実際に行っているという漁師も何人かいるという話も聞いている。農家、漁業に限らず、人材バンクについてこの地域協議会で作り上げていくことができればよいと思う。

○菅原会長：課題はあると思うが、その実現に向けみなさんに奮起していただき、知恵をお貸しいただきたい。

○佐藤副会長：人材バンクの話だが、コミュニティ・スクールはそれぞれ人材が必要と考えている。本の読み聞かせ、学童保育などに関して厚田ならではの教育ができる優秀な人材を集めていく…そのきっかけをここから作っていきたい。

○菅原会長：次は石狩冬まつりについて。私も石狩冬まつりに行ったのだが、本当に多くの人に来ていた。駐車場については問題もあったのかもしれないが、初年度だったので、次年度に向け課題解決を図っていけばよいと思う。このイベントに携わった人たちの熱意が感じられたイベントであった。

○佐藤副会長：私は二日目に行ったのだが、最大の魅力をやはりすべり台。できれば来年も日本一というキャッチフレーズで何かできればよいと考えている。例えば、山の頂上にテントを張って、その中で暖かいものを飲みながらすべり台を待つ…。このようなことを、ぜひともこのお祭りを支えている方々の手で行ってほしい。

○菅原会長：続いて、過疎計画についての説明をお願いします。

④過疎計画について尾山課長が説明。詳細は下記のとおり。

- ・ 過疎法の延長により、平成27年度まで過疎計画に載った事業に関し過疎債を活用した取り組みが可能となる。
- ・ 今後、厚田区における課題を抽出し、その中で過疎計画への盛り込みの可否について各事業の洗い出しを進めていく。
- ・ 過疎計画からはずれてしまった事業については、厚田区の課題として、支所一丸となり取り組んでいく。

○菅原会長：この案件について、何か質問があればお受けしたい。

○佐藤副会長：この件と地域協議会との関係はどういうものなのか。

○尾山課長：過疎計画は地域協議会の審議案件の一つとなっている。

○菅原会長：もう一つ事務局から説明事項がある。

○高田主査：次第には載っていないが、昨日、発足バスの意見交換会を実施、みなさんにも内容をお伝えできればと思いい資料を添付した。三年間の利用状況の説明や、より使いやすい地域のバスとするために地域のみなさんから意見を聞いた。

○菅原会長：質問がなければこれにて閉会とする。

5. その他

(1) 次回会議の日程等について

- ・ 次回地域協議会

平成22年3月25日(木) 18:30 ~ 厚田支所

6. 閉会

平成22年3月25日議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 菅原 道夫